

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターポッポ		公表日		令和7年 3月12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・年中・年長児が体をいっぱい遊ぶには狭く感じることもあるが、同じ療育時間の2クラスで交代しながら部屋を使うなど工夫している。園庭や公園などの戸外で遊ぶことも大切にしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・指定基準より多く配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・遊びと生活面で部屋を分けたり、パーティションを使用したりするなどしている。 ・必要に応じて、個別のマークを貼り、場所を分かりやすくしたり、その日の活動を写真やイラストで伝えたりするなどの配慮をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・療育終了後には清掃を行い、週1回は普段行き届かない箇所の掃除も行うなど、心地よく過ごせる環境づくりをしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・少しクールダウンをする場合など、必要に応じて使用できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・療育に関してはグループの職員全体で話し合いの場を設けている。 ・職員会議等で業務運営に対して意見を交わす場を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	利用者満足度調査を実施し、その集計結果といただいたご意見はファイルに綴じ、閲覧できるようにしている。また、ご意見の中ですぐに対応ができることに関しては速やかに行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・職員会議を定期的に行い、職員の意見等をきく機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・研修を受講できるように機会を確保している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・支援プログラムを作成し、ホームページ上で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・子どもの最善の利益を大切にす共通認識を持ち、検討を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・計画書の内容をもとに日々の遊びや活動内容を検討したり、振り返りを行ったりしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2			

	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・グループで都度遊びを振り返りながら、活動プログラムを考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・振り返りで出し合った子どもの姿を出発点に次の遊びの内容を検討している。 ・様々なアイデアを出しながら遊びを提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・小集団での遊びを大切にしているが、状況に応じて個別対応を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・打ち合わせの中で、遊びの内容や役割分担をチームで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・振り返りを行い、子どもの様子や気づき等を出し合い、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・必ず記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・担当職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・タイムリーに連携がとれるように体制を整えている。	
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	・必要に応じて情報共有を行っている。	・全ての年長児対象に引き継ぎが行っていないため、今後のあり方を検討していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	0	・連携し、発達支援アドバイザーとして地域のつながりをつくり、地域全体の療育の質が向上するように取り組んでいる。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	0	・北部の自立支援協議会児童部会をはじめ、地域の子ども・子育て会議に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・併行通園児は日常、交流の機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・都度、活動の様子を保護者に報告したり、グループや面談で共通理解が図れるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・グループで出された困りや悩みにこたえたり、関わりや子どもの捉え方について助言している。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・年長児向けにアンケートをとり、子どもの思いをきく機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・保護者担当が話し合いの場をもち、相談に応じている。また、個別の相談にも応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・父母の会や同窓会をはじめ、保護者同士のつながりを支援している。また、きょうだい児の交流する機会もつづけている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・適宜、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・活動内容をホームページ上のブログで随時紹介している。	・ホームページ上のブログをさらに周知している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・適切に管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・北山ふれあいセンターまつりを地域に向けて開催している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		・マニュアルを保護者の方とも共有できるように取り組んでいく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	書面に記載してもらい、面接時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・医師の指示書をもとに保護者からアレルギーチェックを表を提出してもらい、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・毎日朝礼で共有をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・年に1回以上研修機会を確保している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		